

令和 3 年度 学校評価の評価結果及び改善方策等について

1 令和 3 年度に向けた改善方策の実施結果について

令和 2 年度の学校関係者評価に基づき、令和 3 年度学校経営計画を以下のように策定し、実践してきた。

学校経営の重点目標

松沢小学校は、世田谷区が示している「せたがや 1 1 +」に基づき、新しい時代に向けた教育への転換を図ることを学校経営の目標とする。

- (1) 「子どもたちの将来の可能性及びキャリア形成」を支援する教育
- (2) 「自己肯定感、協働する力、課題を解決する能力」を育む教育
- (3) 「多様性、広い視野、主体的な考え」を尊重する教育

学校経営の重点目標を達成するための 4 つの柱

(1) 教育の質の転換

- ① 地域運営学校の機能を生かし、地域や保護者、企業等と連携したアウトソーシングを活用した体験型の授業を行う。
- ② 総合的な学習の時間等でキャリア教育を実施し、将来への夢や希望をもたせ、目標に向かって取り組もうとする意欲を育てる。

(2) 誰一人置き去りにしない教育の推進

- ① 「いじめ防止基本方針」に従い、いじめの予防や早期発見・対応を行う。
- ② 肢体不自由学級、知的固定学級、特別支援教室拠点校併設のメリットを生かし、ユニバーサルデザインの授業や共生社会での自立を目指したインクルーシブ教育システムを構築し、特別支援教育の充実を図る。
- ③ 人権教育・生命尊重教育を推進し、多様性を尊重した学びや相手を大切にする態度を育成するなど、共生社会を生きるための基礎を培う。
- ④ 一人一台のタブレット端末を、一人一人の興味・関心や理解度、学び方に応じた「個別最適化した学習」を実現するためのツールとして活用する。

(3) 子どもたちの学びを支える環境の整備

- ① 教職員の指導力を高め、学校を支える人材としての育成を行うために、学校運営組織を OJT とするとともに校内研究や各種研修の活性化を図る。

(4) 今日的な課題への対応

- ① ESD 教育の充実を図り、自らの暮らしや地域の課題と結び付けて考え、持続可能な社会の実現を目指す教育を推進する。

これらの重点目標に基づき、今年度の具体的な方策 55 項目を定め、教職員の自己申告書との連携を図り、実践してきた。実施結果については次項目で述べる。

(令和 3 年度学校経営計画については、別紙参照)

2 自己評価結果

別紙「令和3年度 自己評価結果」を参照

3 令和4年度に向けた重点改善項目

令和3年度学校経営計画に基づく、自己評価結果から以下の点について次年度、重点的に改善策を実施する。

番号	評価の観点	改善策
1	ユニバーサルデザインの指導や環境整備を徹底し、「分かる授業」を実践しながら、児童が学びの成果を実感できるようにする。	・ユニバーサルデザイン（UD）を取り入れた基礎的環境整備についてを作成し、全学級で統一した教室環境を整える。
9	体力テストの結果を分析し、課題を明らかにし、体育の指導内容の重点化を図り、体力や運動能力の向上を図る。	・体力テストの結果の分析を体力向上部で検討し、数値が低い種目を高めるような手立てを考える。 ・体力向上を図る取組として、2学期は長なわ週間、3学期は持久走週間を設け、取り組ませる。
20	教科「日本語」を通して、日本文化を理解し大切に継承・発展させるために、百人一首等を用いてきた取りを行う。	・年間指導計画に、低学年は、俳句カルタ（通年）、中学年は百人一首を入れて取り組む。
25	「松沢小学校のあいさつ（あいさつ、いのち、うんどう、えがお、おもいやり）」をキーワードにして、基本的な行動習慣の定着を図る。	・あいさつ推進週間を設定し、児童によるあいさつ運動を実施する。 （1年生1回、2・3年2回、3年生以上3回）
34	「キャリア・パスポート」を活用して、児童が学習や生活を見通し、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげ、将来の生き方を考えられるようにする。	・キャリア教育の研修会を実施する。 ・キャリア・パスポートの手本を見て何を入れるか年間指導計画に基づき確認する。

4 令和4年度 学校経営計画

令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。「3 重点改善項目」に視点を置きながら、別添「令和4年度学校経営計画」に基づき、バランスよく本校の教育活動を改善・推進する。